



はくい (HAKUI)

平成26年4月号(2014)

# 市議会だより

No.61

## 設置目的

- ① 市民に市議会の活動状況、情報を提供し、
- ② 市民との意思疎通手段を多重化しながら、
- ③ 市民の要望を市政に反映させるとともに、
- ④ 分権時代に向けた市議会の活性化を図る。

発行者／石川県羽咋市議会

編集者／市議会だより編集委員会

住 所／〒925-8501 石川県羽咋市旭町ア200番地

TEL 0767-22-7160 FAX 0767-22-7210

<http://www.city.hakui.ishikawa.jp>

## CONTENTS

一般質問…………… 2

各委員会報告…………… 7

市民の声…………… 10



羽咋小学校入学式

## 第2回定例会の概要

平成26年第2回羽咋市議会定例会が2月28日から3月20日までの21日間開催された。提出された議案は、新年度一般会計予算102億7,100万円など議案31件。

初日の提案理由説明で山辺市長は、平成26年度予算案については、平成25年度に引き続き「はくい再生プログラム」を推し進め、「安全安心で環境にやさしいまちづくり」「地域資源を活用した交流人口の拡大」「定住人口の確保と少子化対策の推進」「協働によるまちづくりと財政健全化

の推進」の4分野を重点施策とし、これまでの安全安心はもとより、新幹線開業などからの交通新時代を見据えた交流人口の拡大や、人口減少に歯止めをかける若者定住などの諸施策に重点的に取り組むとした。

28日の議案第9号（ゆ華購入に関する予算）には、7人が質疑に立った。10日・11日の質疑及び一般質問日には、9人が質問し、最終日の採決では、一般会計予算案など28件を原案通り可決した。また、追加市長提出議案3件も可決した。



北川 真知子 議員

## 税金は市民の暮らし応援を優先して使うべき



ちりはまホテルゆ華

### 安心住まいリフォーム助成の削減をやめよ

**【質問】** 安心住まいリフォーム助成事業は、市民と地元業者、地元商店街からの反響が大きく、追加の補正予算が度々組まれてきた。2012年の実績は申請件数66件、助成額は1,260万円、経済効果は1億4,400万円。2013年は申請件数85件、助成額は1,600万円、経済効果は2億4,500万円となっている。助成率の20%から10%への削減をやめよ。

**【答弁】** 申請件数に見合う現在の助成額が確保できない。新年度の申請件数も伸びると予測され、限られた予算の中で広く市民に活用できるよう助成率を引き下げた。

### 「ちりはまホテルゆ華」の取得は撤回を

**【質問】** 「ゆ華」の経営状況を踏まえると十分採算に合う運営ができるのか。赤字になった場合、市民の税金で穴埋めしないと約束できるのか。バブル期にリゾート開発で多くの自治体が損害を出してきた。市がホテル経営に乗り出してうまくいくのか。

**【答弁】** 京都市職員への優遇制度の廃止や北陸新幹線開業による利用者の増などにより、営業利益で黒字が見込まれる。仮に赤字になった場合でも、市からの赤字補てんはしない。

県内でも11市町が宿泊施設を所有し、滞在型観光や雇用面の効果を引き出し活力あるまちづくりを進めている。



浅野 俊二 議員

## 新幹線金沢開業を見すえ 活性化対策を急げ！



整備・改修が求められる羽咋駅周辺

### 駅前周辺の整備を！

**【質問】** ①新年度新規で具体策②南側駐輪場が風で破損し建替の際は、屋根はソーラー、側面はトキや五重塔など高校の美術部に描いてもらえばどうか。そうすれば愛着も沸き大切に使うのではないかと。③駅前商店街の道路を神社やお寺にマッチした舗装整備とマイツリー（緑化）、砂像の設置を④空き店舗対策として、助成金の引き上げや税の減免をし、高校生や福祉団体等の利用を促し、店舗の有効活用を図れ⑤長者川改修計画の見直し

**【答弁】** ①平成26年度は駅東口のロータリー整備や地下道改修等都市再生事業で整備する。②新駐輪場は軽量鉄骨のためソーラーは強度不足で困難だが、側面の壁画は検討する。③カラー舗装については景観に配慮し地元の御意見も伺う。緑地化について歩車道の分離がないので困難だが、プ

ランター等の設置は可能であり、関係者の協力をお願いする。④中心市街地起業家支援制度の助成額を40万円から60万円に拡充する。学生や福祉施設の利活用については、制度づくりや支援策を検討する。⑤長者川の改修を含めた駅周辺の整備を検討する。

### 羽咋側の人口リーフの造成を急げ

**【質問】** 知事は羽咋の漁業関係者の反対で遅れている趣旨の話を聞いたが事実ではない。関係者は同意しており、知事対応を急げ。

**【答弁】** 昨年5月に私は知事室に出向き要望を行っている。今後組合と協議し県に強く要望する。

### その他の質問

①ゆ華購入について



山本 泰夫 議員

## J R羽咋駅周辺整備・ ふるさと融資制度



羽咋駅前

### 駅前開発を急げ

**【質問】** 都市再生整備計画事業として、J R羽咋駅利活用調査を行い、社会資本整備総合交付金事業により、駅周辺の整備を図るとのこと。長者川の改修事業、都市計画道路川原町線の整備。トーカマート跡地整備、駅周辺道路、市道羽咋117号線・270号線の修繕、J R羽咋駅東口・西口のトイレ改修と駅のリニューアルができないか。

**【答弁】** 川原町線の整備の必要性は十分認識している。長者川の改修は、喫緊の課題であり、県に対して要望していく。トーカマート跡地の西側一部は競売で個人が取得。残りの土地・建物は整理回収機構、民間法人の管理下にある。市として取得して活用する計画はない。道路修繕は、平成26年度から2ヶ年事業で舗装修理工事を実施。西口トイレは、駅舎整備とともにJ Rに要望している。

### (株)モンベル社へのふるさと融資貸付

**【質問】** 北陸モンベル社は志々見町に誘致され、その後寺家工業団地、そして今槌音高く旭化成跡地に工場建設が進められている。ふるさと融資貸付金総額十億五千万を無利子で融資が行われる。移転条件なのか。

**【答弁】** ふるさと融資は地域振興に資する企業が、雇用人員の一定の要件を満たせば活用できる制度であり、先月ふるさと財団から融資対象事業として適当であると審査結果連絡があり、予算措置したものである。

#### その他の質問

- ①定住人口の促進策と少子化対策
- ②名誉毀損問題
- ③除雪対策等



大塚 幸男 議員

## 100年に1度のチャンスを活かして浮上!



土曜授業の再開はいつ

### 若者定住策の拡充

**【質問】** 人口や若者定住は、地域の活力を示すバロメーターであり、常に先を見据えた投資が不可欠である。若者向けの低廉な住宅提供は早急に具体化が必要。子ども医療費の高卒までの拡充は、他に遅れをとらないよう実施すべき。保育料の見直しなども含め、若者定住策を総合的に見直し、スクラップアンドビルドで本市の特徴を広くPRし、若者の心をつかむことを求める。

**【答弁】** 定住人口の確保として、宅地造成は地域活性化に欠かせない施策であり、時期を失しないよう、住宅需要などの状況を見極めながら整備を進めたい。子ども医療費の拡充は、県内の動向や財政状況を勘案して対応する。若者が夢と希望を持って暮らせるよう、働く場の確保、住環境整

備、子育て支援など総合的に進めたい。

### 小中学校の土曜授業の導入

**【質問】** 石川、富山の公立学校の一部で、新年度から土曜日の授業が復活し、試験的に実施されるようだ。金沢市や輪島市の教委でも取り組む方針を示しており、本市教委の考え方と準備状況は。土曜授業には教員の勤務体系の課題や、学習塾など家庭の理解や協力も必要であり、検討状況は。

**【答弁】** 県内市町では、国の委託事業としての試行や市町独自で年間数回実施するものである。土曜授業の趣旨を踏まえた条件整備や実態把握が必要であり、国県の取り組み状況を見て検討したい。

#### その他の質問

- ①羽咋市在住外国人への具体的支援策



寺井 哲也 議員

## 安全・安心なくらしを！



大雨被害の傷跡

### 大雨災害の復旧について

**【質問】** ①大雨の傷跡が残る飯山町では、住民が心配な毎日を送っている。復旧はどうなっているのか。②大雨の度に余喜地区の通学路が冠水する。その他、市内に幾つかそのような場所があるが対策はどうなっているのか。

**【答弁】** ①邑知地区の37件のうち、土木災害10件については復旧工事を終えており、残りの27件についても発注済みである。年度末の完成に向け復旧工事を実施しており、一日も早く住民の安全・安心を確保したい。②町会と連携強化を図りながら、土のう袋の配布や河川の堆積土砂除去などを行いたい。

### イノシシ対策について

**【質問】** 邑知や余喜地区の山沿いだけでなく、千

路や鹿島路の山にも出没しリンゴ園の土を掘り返している。今後、更に被害が増えると思われる。

①県内で、報奨金を出している自治体があるが当市も出してはどうか。②ジビエ料理として売り出してはどうか。

**【答弁】** ①イノシシ被害の対策として報奨金も有効と考えられることから、今後検討したい。②イノシシや鹿の個体数調整の一つとしてジビエ料理が注目されているが、県内では現在白山市に1カ所あるだけで、加工・販売には、施設面・供給面、食品衛生面の制約から現時点では難しいと考えている。

#### その他の質問

- ①定住人口の確保と少子化対策について
- ②過疎地域認定について



稲村 信成 議員

## 志賀原発避難所を なぜ一番遠い邑知中に！



志賀原子力発電所

### 市民の原発避難所工事に2億円！

**【質問】** 原発に一番近い柴垣・滝・一ノ宮等々の市民緊急避難所を西北台小学校に確保し、逃げ遅れる人・お年寄り・要支援者等々の一時避難所とするべき。邑知地区の人々はすぐに市外へ避難が可能。邑知中を選ぶ理由を問う。施設機能や収容人数は。

**【答弁】** 災害時要支援者の一時避難所として、原発から一番遠く、利便が良い邑知にした。収容は500人で、放射線等の防護機能が高い施設となる。

### 介護保険法の改正内容を問う

**【質問】** 平成27年度より要支援1・2の保険サービスが大幅な改定との報道あり。介護支援での市の十分な対応を求めるとともに、財政への影響を問う。

**【答弁】** 訪問と通所介護が市の地域事業へ移行。必要なサービスを提供できる制度の整備を行う。将来は体制維持のため、給付と負担の検討も必要。

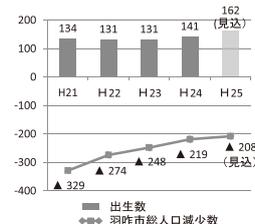
#### その他の質問

- ①高齢者の見守りSOSネット事業について
- ②能登地域のGI AHS振興について
- ③難病疾病者（ALS等々）の実態について



櫻井 英一 議員

## 人口減少対策は急務課題



羽咋市総人口減少数と出生数の推移

### 定住人口の確保と少子化対策

**【質問】**本市は、これまでさまざまな定住促進・少子化対策の事業に取り組んできた。これまで行ってきた各種対策事業をどう評価・総括し、平成26年度の施策に反映していくのか。

**【答弁】**本市では、定住促進・少子化対策として住まいづくり奨励金や定住促進住宅の家賃値下げ、中学校修了までの子供の医療費全額助成などを行ってきた。その結果、人口減少数・出生数ともに改善しており、定住促進・少子化対策は一定の効果があつたと評価している。平成26年度予算の反映については、モンベルの操業支援などの企業誘致、駅東地区の若者定住地地の販売など、一層の定住促進・少子化対策に予算を配分した。

### ファシリティマネジメント導入の検討を

**【質問】**公共施設を長期的な視点で、最適な状態で施設管理していく手法「ファシリティマネジメント」の導入を検討してほしい。

**【答弁】**ファシリティマネジメントによる施設管理は、施設全体を対象に将来の行政需要を見込んだ長期的視点に立ち、最小の経費で最大の効果を発揮できるように統一的に計画・管理を行うものである。県内の自治体では、現在、ファシリティマネジメントによる手法を取り入れている市町がないのが現状である。今後、この手法が本市の施設管理に有効かどうか研究、検討していく。

#### その他の質問

- ①健全な財政運営について



松永 幸則 議員

## 子どもを守る情報共有と若い農業者の支援を



無農薬の自然栽培等に取り組む若い農業者

### 犯罪を未然に防ぐための不審者情報の共有を

**【質問】**注意・警戒すべき事案があつたということすら情報の共有がない。それでは子どもたちや市民に対する注意喚起も、犯罪に対する抑止もできない。現在の情報共有のあり方は早急に改善すべきでは。

**【答弁】**子ども達や市民の安全を脅かす事件や事故が多発する昨今、保育園などや学校及び保護者、そして市民が不審者情報を速やかに把握し共有することが、危険を回避し事件や事故を防ぐことにつながると考える。不審者情報を地域で共有し、登録者への電子メールの配信や市のホームページ及び防災行政無線などの活用を検討する。

### 自然栽培等に取り組む若い農家の支援を

**【質問】**羽咋市で自然栽培等の環境保全型農業に取り組みたいと、市外から移住して来ている若い農業者が複数いる。人間にも地球環境にも優しい農業は、今後高い成長が期待できる。彼らを支援する考えは。

**【答弁】**のと里山塾などで習得した技術を生かし、安定的な供給を実現できることが重要。JAはくいや関係者と情報発信方法や千里浜インター付近の観光交流拠点への販路の構築を目指す。JAはくいの直売所で販売を試験的にやっていきたい。

#### その他の質問

- ①羽咋市の教育における教育委員会の見解について  
②介護保険制度改正に伴うボランティア・NPO・地域団体の支援について



浜名 等 議員

## 自転車を利用した 滞留型観光を推進せよ！



活用が期待される羽咋巖門自転車道線

### 羽咋巖門自転車道線の整備と活用を！

**【質問】** 羽咋市の観光スポットを廻るには、自転車の利用が効果的だと考える。滞留型観光客の滞在時間を増やすためにも、推進をしてはどうか。また、活用が期待される羽咋巖門自転車道線の一部では、老朽化のため、補修が必要な個所がある。利用者の安全確保のためにも、早急な整備が必要では。

**【答弁】** 自転車の利用は観光客の利便性や回遊性を高め、滞留型観光の推進には、非常に有効だと考える。今後は関係者との協議を進めていきたい。また、補修が必要な個所については、県に強く要望をしていく。

### 防犯灯のLED照明化を推進せよ

**【質問】** 近年、地球温暖化の観点から、消費電力

が少なく寿命が長い、LED照明の普及が進んでいる。今後は、費用対効果の高いLED照明化へ向けた対応が必要と思われるが、本市における現在の使用状況と、今後の取り組みについて聞く。

**【答弁】** LED化の推進は地球温暖化や省エネルギー対策に大きく貢献するほか、長寿命化や維持管理の負担軽減が図られる。積極的に取り組んでいく必要があるので、新年度からは、市管理の防犯灯の取り替えや、町会要望による新設についても対応を予定している。

#### その他の質問

- ①観光サインの充実
- ②空き家対策
- ③顔写真入り職員配置図の設置
- ④再任用制度



塩谷 久司 議員

## ちりはまホテルゆ華の取得は 千載一遇の好機



期待される「ちりはまホテルゆ華」

### 新幹線効果の果実の引き込みは

**【質問】** 千里浜インターでの観光交流拠点づくりは、北陸新幹線の金沢開業効果を本市に引き込む方策として、説得力はあるが他にこの計画を超える場所や代案はあるのか。

**【答弁】** のと里山海道からの玄関口で、今後の観光交流拠点整備には最適な地域だと考える。関係者や団体等からの要望や提案については、現在無いが平成23年3月に観光団体や商工団体の協議会で策定された観光振興ビジョンでは、観光交流拠点施設の整備や千里浜インターチェンジ付近の商業集積化がある。

### ゆ華取得の波及効果は

**【質問】** 交流人口拡大の最大のメリットは宿泊にある。ゆ華の年間1万人は貴重だが、今後の伸びは。また、ほかの旅館や民宿への波及効果はどうか。

**【答弁】** ゆ華の宿泊客数は大きく伸びてきている。維持管理費の削減などで経営状況も改善。また市の運営補助がなくても採算がとれる施設であり、使用料の徴収も期待できる。民間所有となった場合、ホテル経営に規制をかけられず土地、施設の利用は所有者が決定。市内業者とのすみ分けに関しては本市の意向は及ばないものと考えている。

## 平成26年 第2回定例会 3月議会

### ◇平成26年度の一般会計予算をはじめ全議案を可決

平成26年度一般会計予算や国民健康保険特別会計予算、介護保険特別会計予算等の議案29件、人事案件2件を原案のとおり可決・承認した。請願5件については、「TPP交渉に関する請願」や「米の需給と価格に責任を持つ米政策の確立を求める請願」等3件を継続審査、2件を不採択とした。議員提出議案では、「子ども医療費助成の拡充を求める決議の提出について」および「子ども医療費助成制度の創設等を求める意見書の提出について」を全会一致で可決した。

### ◇議決一覧

議決番号	議案番号	件名	議決年月日	結果
議決第2号	議員提出議案第1号	羽咋市議会委員会条例の一部改正について	H26.2.28	原案可決
議決第3号	議員提出議案第2号	羽咋都市広域圏事務組合規約の一部変更について	H26.2.28	原案可決
議決第4号	市長提出議案第9号	平成25年度羽咋市一般会計補正予算(第7号)	H26.2.28	原案可決
議決第5号	議員提出議案第1号	議案第9号 平成25年度羽咋市一般会計補正予算(第7号)に対する附帯決議案の提出について	H26.2.28	原案可決
議決第6号	市長提出議案第23号	財産の取得について	H26.3.13	原案可決
議決第7号	市長提出議案第24号	羽咋市宿泊施設条例の制定について	H26.3.13	原案可決
議決第8号	市長提出議案第2号	平成26年度羽咋市一般会計予算	H26.3.20	原案可決
議決第9号	市長提出議案第3号	平成26年度羽咋市国民健康保険特別会計予算	H26.3.20	原案可決
議決第10号	市長提出議案第7号	平成26年度羽咋市水道事業会計予算	H26.3.20	原案可決
議決第11号	市長提出議案第8号	平成26年度羽咋市下水道事業会計予算	H26.3.20	原案可決
議決第12号	市長提出議案第16号	消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	H26.3.20	原案可決
議決第13号	市長提出議案第4号	平成26年度羽咋市後期高齢者医療特別会計予算	H26.3.20	原案可決
議決第14号	市長提出議案第5号	平成26年度羽咋市介護保険特別会計予算	H26.3.20	原案可決
議決第15号	市長提出議案第6号	平成26年度羽咋市千里浜財産区特別会計予算	H26.3.20	原案可決
議決第16号	市長提出議案第10号	平成25年度羽咋市一般会計補正予算(第8号)	H26.3.20	原案可決
議決第17号	市長提出議案第11号	平成25年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	H26.3.20	原案可決
議決第18号	市長提出議案第12号	平成25年度羽咋市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	H26.3.20	原案可決
議決第19号	市長提出議案第13号	平成25年度羽咋市介護保険特別会計補正予算(第3号)	H26.3.20	原案可決
議決第20号	市長提出議案第14号	平成25年度羽咋市水道事業会計補正予算(第2号)	H26.3.20	原案可決
議決第21号	市長提出議案第15号	平成25年度羽咋市下水道事業会計補正予算(第2号)	H26.3.20	原案可決
議決第22号	市長提出議案第17号	羽咋市職員退職手当条例の一部改正について	H26.3.20	原案可決
議決第23号	市長提出議案第18号	羽咋市都市計画審議会条例及び羽咋市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	H26.3.20	原案可決
議決第24号	市長提出議案第19号	羽咋都市広域圏事務組合規約の一部変更について	H26.3.20	原案可決
議決第25号	市長提出議案第20号	神子原辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	H26.3.20	原案可決
議決第26号	市長提出議案第21号	市道路線の認定について	H26.3.20	原案可決
議決第27号	市長提出議案第22号	平成25年度羽咋市一般会計補正予算(第9号)	H26.3.20	原案可決
	請願第1号	「特定秘密の保護に関する法律」の廃止・撤廃を求める請願	H26.3.20	不採択
	請願第2号	TPP交渉の内容開示等を求める請願	H26.3.20	継続審査
	請願第3号	米の需給と価格に責任を持つ米政策の確立を求める請願	H26.3.20	継続審査
	継続審査平成25年請願第10号	羽咋中学校に「サッカー部」の創設を求める請願	H26.3.20	不採択
	継続審査平成25年請願第12号	TPP交渉に関する請願	H26.3.20	継続審査
議決第28号	議員提出議案第2号	子ども医療費助成の拡充を求める決議の提出について	H26.3.20	原案可決
議決第29号	議員提出議案第3号	子ども医療費助成制度の創設等を求める意見書の提出について	H26.3.20	原案可決
議決第30号	市長提出議案第25号	工事請負契約の締結について	H26.3.20	原案可決
議決第31号	市長提出議案第26号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	H26.3.20	原案同意
議決第32号	市長提出議案第27号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	H26.3.20	原案同意
		各常任委員会及び議会運営委員会所管事務の閉会中の継続調査申出書	H26.3.20	決定

## 総務文教常任委員会報告

当委員会に付託された案件は、議案第2号「平成26年度羽咋市一般会計予算」中、当委員会所管分など議案9件。

なお、平成26年度の各会計の新年度予算については、連合審査会を開催し、審査を行った。

新年度予算を除く、残りの付託案件については、詳細な説明を聴取し、慎重に審査を行った。その結果、いずれも全会一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決した。

請願第1号「特定機密の保護に関する法律」の廃止・撤廃を求める請願については、賛成少数で不採択と決した。

次に、平成25年からの継続審査となっている請願第10号「羽咋中学校にサッカー部の創設を求める請願」については、賛成少数で不採択と決した。

また、陳情1件については、聞き置いた。

審査の過程において出された主な質疑及び要望は以下のとおり。

**【質問】 原子力対策整備事業の工事請負費が1億**

7000万円、設計委託費が3000万円となっているが、どのような内容なのか。

**【答弁】** 通常工事費の2割程度が設計委託費となるが、今回放射能防ぎょ施設ということで、検討課題が多くなることから、当初予算を多めにした。工事は交付金の上限予算で行い、これに単費を足すことはない。

**【質問】 一般廃棄物収集事業の委託を、3つに分けている理由はなにか、また委託金額は適切か。**

**【答弁】** ごみ収集事業は市内業者の収集能力を考慮して3つの区域に分けている。委託金額については、県全体の単価を使用している。

**【質問】 ユーフォリア千里浜の指定管理料の中には軽微な修繕費が含まれると思うが、契約内容の説明をせよ。**

**【答弁】** 指定管理料の中には、修繕費680万円を見込んでおり、修繕額が100万未満のものについては、受託業者で行うことになる。また年度協定書では、平成26年度調査費を見込んでいる。

## 産業厚生常任委員会報告

当委員会に付託された案件は、議案第2号「平成26年度羽咋市一般会計予算」中、当委員会所管分など、議案15件及び継続審査中の請願1件を含む請願3件。慎重に審査を行った結果、議案第2号、第3号、第7号、第4号の議案4件は、賛成多数により可決。残りの議案11件は、全会一致で可決承認された。

請願第2号「TPP交渉の内容開示等を求める請願」は、国の交渉内容を慎重に見守る必要があることから、全会一致で継続審査とすべきものと決した。

次に請願第3号「米の需給と価格に責任を持つ米政策の確立を求める請願」は、国の情勢等を見守る必要があることから、全会一致で継続審査とすべきものと決した。

審査過程での主な質疑・要望は以下の通り。

**【質問】 昨年12月1日からるんるんバスの運行時刻及びルートが変更となったが、利用者数は増加しているのか。**

**【答弁】** 昨年12月から本年2月までの3か月間で、利用者は約200人減少している。

**【質問】 合併浄化槽の年間設置目標数及び達成見込数は何基あるのか。**

**【答弁】** 目標数は年間30基であり、達成見込数は26基である。

**【質問】 ウィンドウズXPのサポート終了に伴い、国保月報システムも変更が必要か。**

**【答弁】** 国保月報システムも根本的に修正する必要がある。修正しないと適正に活用できない。

## 交流拠点施設整備特別委員会を設置

本市議会では、「議会改革検討特別委員会」、「国道415号羽咋バイパス建設促進特別委員会」、「国道159号羽咋道路建設促進特別委員会」及び「中学校施設整備促進特別委員会」の4特別委員会に加え、平成26年3月13日に新たに「交流拠点施設整備特別委員会」を設置し、14名の全議員が委員となった。

その設置の目的として、本市には、国宝化を目指している妙成寺、パワースポット及び縁結びの神様として人気のある気多大社など歴史と伝統がある数多くの文化遺産、日本で唯一、砂浜を車で走ることができる千里浜なぎさドライブウェイなどの自然遺産がある。また、「UFOのまち、羽咋」をPRできるコスモイル羽咋など他に類の

ない施設や世界農業遺産の玄関口としての地理的優位性など、本市の魅力を観光客へ発信できるものが多数存在している。

更に、無料化となった「のと里山海道」に加え、来春の北陸新幹線金沢開業、国道159号及び国道415号の早期整備促進等により、本市は交通・交流新時代を迎えることとなり、本市にとって交流人口を拡大できる絶好の機会である。

これらの地域資源を活用するため、市内各所の交流拠点を整備することにより、活力と魅力あるまちづくりが実現できると考えることから、交流拠点施設を迅速かつ的確に整備するための調査及び必要な提言を行う。

## 能登五市議会議員研修会

能登五市議会議員研修会は、能登の5市持ち回りで毎年度開催しているが、今年度はかほく市が当番市で、平成26年1月9日、かほく市の西田幾多郎記念哲学館哲学ホールで開催された。

講師は、全国市議会議長会法制参事の廣瀬和彦氏で、議題は「議員の発言について」を、約1時間半にわたり、一般質問、質問の範囲、質疑、質問と質疑の相違、重複質問、質問における要望、

議員の発言と法的責任などについて、他市の事例、行政実例や裁判例をまじえながら、議員の発言の基本的事項や注意点などについて講演を行った。

本市からは、議員と事務局職員の計15人が参加し、参加者合計数は、5市の参加者と講師を含め89人と盛況であり、その後、各市の議員と意見交換を行った。



西田幾多郎記念哲学館にて

# ●●● 市民の声 ●●●

## もっと紙面の充実を！

S.M (千里浜地区・50代・男性)

市議会だよりを見ていて思うのですが、議員別の採決結果一覧表を載せて欲しいと思います。ゆ華の件でも賛成・反対が分かれたようですが、各議員がどの議案に賛成・反対したのかが判ると、議員の質問内容や考え方がより理解しやすいです。それと、その他の質問についてももっと詳しく載せて欲しいと思います。

## 議会を見て思ったこと

Y.K (千里浜地区・60代・男性)

議会をケーブルテレビで見て思ったのですが、質問の内容が長く、本来の質問のポイントが分かりにくいと感じることがありました。答弁においても「検討する」等が多く、少し物足りなく感じました。質問の持ち時間が決まっていると聞いてますが、再質問も2回までではなく、時間内なら何度でもできるようにしてはいかがでしょうか。そうすれば質問のポイントも明確になるし、十分な答弁ができるようになるのではないですか。市民に分かりやすい議会をお願いいたします。

## お知らせコーナー

### 「市民の声」を募集

議会だより編集委員会では、市民の皆様の声を募集しています。議会に対しての感想などがありましたら、下記までお気軽にお寄せください。

〒925-8501 羽咋市旭町ア200 羽咋市議会事務局 ☎22-7160 FAX 22-7210  
Eメール gikai@city.hakui.lg.jp

### 傍聴してみませんか

市庁舎5階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。次の議会定例会は6月上旬に開催予定です。一度、傍聴してみませんか。

### ●インターネットでも視聴できます

羽咋市議会では、本会議の審議状況を市のホームページで映像配信(生中継)しています。また、

録画映像も配信しており、常任委員会についてもご覧いただけます。

### ●アクセス方法

「羽咋市公式ホームページ」を開き、トップページ左欄の「議会」をクリックし、「インターネット議会中継」の欄から視聴したい項目をクリックしてください。

### 会議録、閲覧できます

市議会だよりに掲載されている質疑・質問は、議会で発言された内容の一部です。定例会の内容は、会議録にすべて記載されています。詳しくは、図書館、議会事務局、公民館で会議録をご覧ください。市のホームページにも掲載しています。

なお、平成26年3月議会の会議録は、6月上旬に閲覧できる予定です。

## 編集後記

市議会は行政のチェック機関として、市政を担う両輪の一つです。市議会では市民一人ひとりの代表として、ずっと住み続けたいと思える魅力あるまちづくりに尽力すると同時に、時代とともに多様化する市民の声に答えることが使命であると考えています。市民に開かれた羽咋市議会の実現のため、さらなる改革を進め、市民の皆様にとって何よりも身近な存在となるよう、日々研鑽に努めてまいります。

この市議会だよりも市民の皆様がどのように読まれ、どのような感想をお持ちになっておられるか知りたいと思っております。皆様のご意見、ご感想をどしどしお寄せいただければ幸いです。  
(高田 甚哉)

議会だより編集委員会  
(☎0767-22-7160)

委員長	高田 甚哉
副委員長	寺井 哲也
委員	松永 幸則
	浜名 等
	北川真知子